

防災減災対策の 見直し・強化

大倉野 由美子 議員

大倉野 7月の豪雨災害

では高齢者や要支援者など多くの市民が避難した。避難所の開設、避難誘導、避難所の設備など改善が必要ではないか。

市長 避難所に関する意見などは届いていない。

避難所運営マニュアル等に基づく避難者支援や広報紙等による防災情報の提供など市民の防災意識啓発に努める。

大倉野 氾濫を繰り返している大谷川流域についてもハザードマップを見直すべきではないか。

市長 新たな土砂災害警戒区域の見直し、浸水危険予想区域など情報収集を行い、県、市ともにハザードマップの見直し作業を行う。

その他の質問
○国保行政
○高校卒業までの医療費無償化

汐見原地区の 農地開発

竹迫 毅 議員

竹迫

農地開発にあたっては、表土の流出がないよう実施すべきと考え。農地保全に留意した施工を予定しているか。

市長

本事業は、山林を開畑し、区画整理や排水路等の整備など、農地を将来の営農形態に適合した生産性の高い条件に整備することにより、経営規模の拡大等を図り、農業経営の安定化を目指すものである。

現在は、事業採択に向けて県と協議を行いながら所有者に対し事業への仮同意徴集を進めている。

今後の計画策定時には、農用地の表土流出を軽減するため、ほ場勾配を緩くすることや浸食等を防止するための農地保全対策、沈砂池等の設置を考慮していく。

その他の質問
○サツマイモ基腐病対策

郷土芸能・伝統行事 の保存と活用

大倉野 忠浩 議員

大倉野

郷土芸能や伝統行事は、地域固有の文化を育む貴重な地域資源である。現状認識を問う。

教育長

国、県指定のものが3件。市指定のものが9件。過疎化・高齢化等により既に途絶えたものも多くある。現在、継承されている中では、毎年実施されるもの、数年おきに実施されるもの、不定期のものがある。

大倉野

郷土芸能や伝統行事に対する具体的支援策は。

教育長

伝承活動、記録保存に要する経費に対して補助制度を設けている。市広報紙等で制度の周知を図っていく。

郷土芸能や伝統行事を継承することは、地域の方々に誇りと愛着をもたらし、地域づくりに意義あるものと考えている。今後も引き続き支援していく。

議会の動き

12月15日	南九州市議会議員選挙
16日	当選証書付与式
20日	議員懇談会
25日	第7回臨時会
1月17日	南九州市議会議員研修会
21日	県市議会議員研修会

【3月定例会】

2月12日	議会運営委員会
18日	本会議（開会：施政方針）
21日	議会運営委員会
25日	常任委員会（補正予算審査）
3月3日	本会議（補正予算採決、一般質問）
4日	本会議（一般質問）
5日	本会議（一般質問）
6日	常任委員会（当初予算審査）
9日	常任委員会（当初予算審査）
10日	常任委員会（当初予算審査）
25日	本会議（閉会：当初予算採決）

編集後記



新しい広報編集委員

年号が平成から令和に変わりましたが、大川自治会評議員による児童の下校時をサポートする活動は長年行われています。この活動は、児童を事故・事件から守るために自治会の年間行事として行われており、児童の下校時間に合せて、大川から別府小学校間の約一キロを徒歩で迎えに行き、児童と一緒に下校します。ある評議員の方は「子供達との会話がうまれ、楽しい時間帯です」と嬉しそうに話してくれました。ま

た、「一緒に歩くことで健康増進になる」とも話してくれました。活動を継続することで、安全で安心できる地域づくりに繋がることを願っています。

（米満）

▼広報編集委員会

委員長	米満 孝二
副委員長	内園知恵子
委員	西山 一
	取違 博文
	上赤 秀人
	山下つきみ